

企業の気候変動に対する取組み

2019年2月19日

積水化学工業株式会社
経営戦略部 環境経営グループ

推進派の意見

環境・社会課題を
解決するのは企業の使命

社会要請、ESG評価の
求めには応じるべき

長期課題の解決を
早期に行えばリスクを
機会に転換できる

共通認識：気候変動は企業リスクの中の1つ

他のリスクと比較した場合の
重みづけの根拠が不足

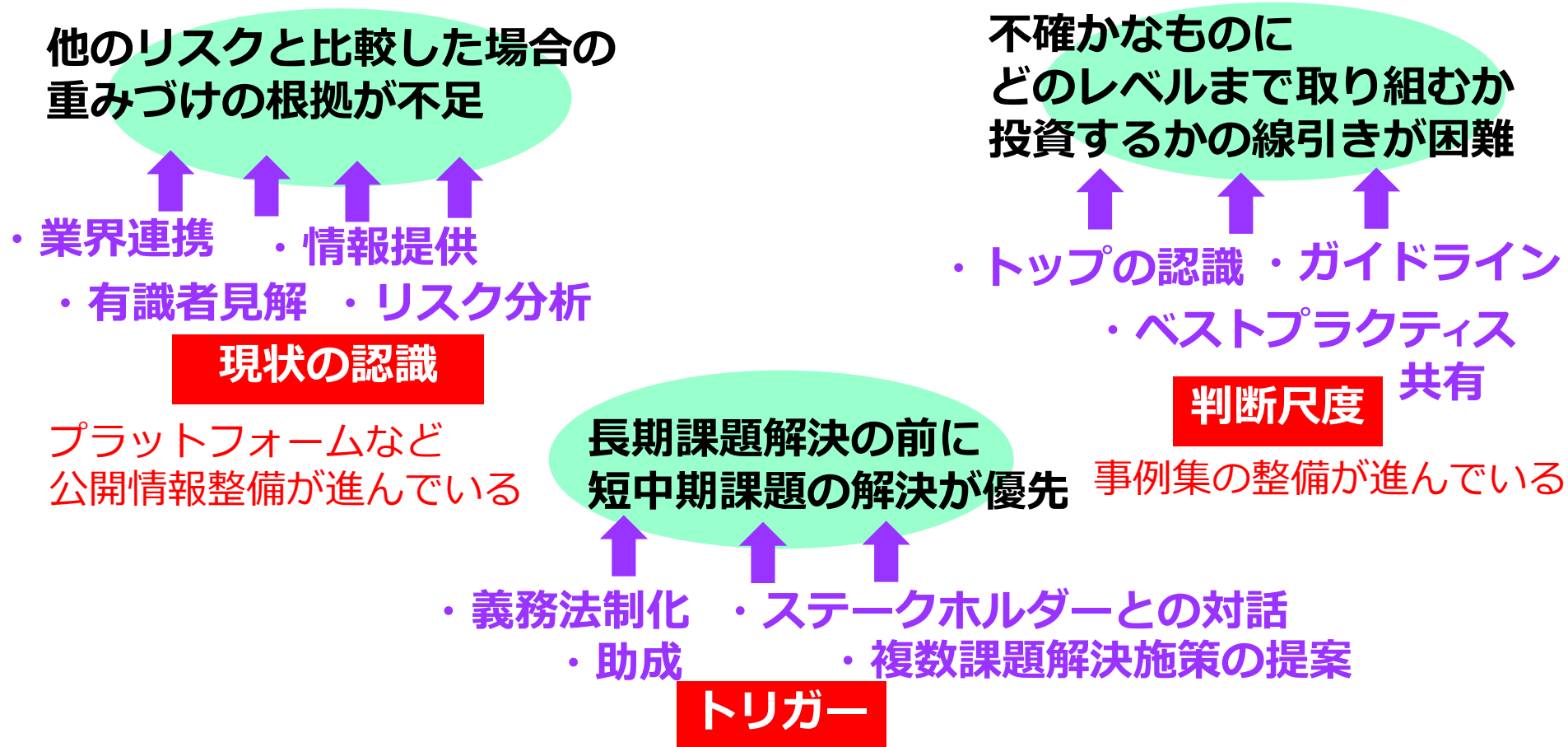
不確かなものに
どのレベルまで取り組むか
投資するかの線引きが困難

慎重派の意見

長期課題解決の前に
短中期課題の解決が優先

**気候変動対策は企業リスクの中で優先的に取り組む
事項だと共通認識を変える必要がある**

認識を変えるには、何が必要か？



様々な後押しが必要。TCFDもその一つ。

・ 自然災害リスク

取組 事業所の防災対策の強化、生産拠点の分散
⇔ 問題：対策コスト増

・ 原材料調達リスク

取組 原料サプライチェーンのリスク見直し
⇔ 問題：コストメリット減少

取組 代替資源・材料の検討、開発
⇔ 問題：開発工数の増加

・ 規制・法的責任リスク

取組 長期目線での対策実施
⇔ 問題：現状利益には反映されず

取組 規制情報の早期把握と対応
⇔ 問題：対策コスト増

問題のデメリットを上回る認識、判断材料があると
取組へとつながる

取組 代替資源・材料の検討、開発

⇔ 問題：開発工数の増加

リスク

- ・ 資源のエリア偏在とエリア毎に多発する災害による供給不足
- ・ 脱炭素社会への転換
- ・ 化石資源代替

取組

エリアに依存しない原材料の調達策の一つ。
可燃ごみから、微生物を触媒に
原材料（エタノール）を製造する新規技術の
確立。

後押し

- ・ 新しい事業の確立につながる
- ・ サーキュラーエコノミーの実現

**リスクをチャンスとする
取り組み**



実証プラント

取組 規制情報の早期把握と的確な対応

⇔ 問題：対策コスト増

リスク

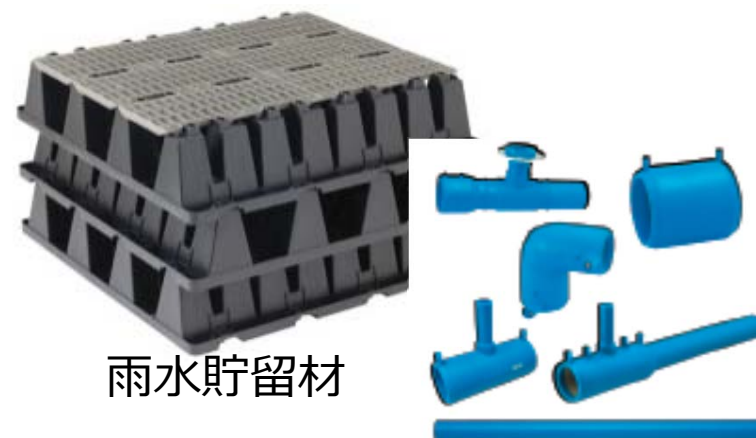
- ・ 干害、洪水被害の多発による原材料サプライヤーの操業停止
- ・ 干害、洪水被害の多発によるユーザーとなるエリア顧客の喪失

後押し

- ・ 自社だけでなく、地域、他社のリスクを

取組

- ・ 災害の影響を受ける地域において基準づくりから現地政府と連携し災害耐性強化を支援
- ⇒ 既存事業の市場を拡大



雨水貯留材

樹脂管、継手

水インフラ関連製品

複数課題を解決

・ 気候変動のリスクをチャンスに変える取組を推進

- ・ 全テーマを環境・エネルギーに据えたR&Dセンターでの技術開発と事業化を推進
- ・ 既存事業の市場拡大とシフト
- ・ **TCFD**に取り組むことで考え方が強化

・ 気候変動だけでなく複数課題解決になる取組を検討

- ・ **SDGs**に貢献する姿勢、考え方で発想転換